

民生福祉常任委員会会議記録

- 1 日 時 令和7年1月14日(火) 午後1時27分から午後2時6分まで
2 場 所 第2委員会室
3 出席委員 茂木委員長、星野副委員長、鈴木、齋藤(育)、井上、戸部 各委員
4 説明者 角田市民部長、根岸環境課長
5 事務局 武井事務局長、大島議事係長
6 議 事

- (1) 市民部各課の所管事項報告・調査事項説明
- (2) 市民部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換
- (3) 健康福祉部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換
- (4) 今後の日程について
- (5) その他

7 会議の概要

- (1) 市民部各課の所管事項報告・調査事項説明

○委員長 それでは、次第(1)市民部各課の所管事項報告・調査事項説明を行う。

環境課の所管に係る事項について説明願う。環境課長。

(根岸環境課長 説明)

ア 環境課

・調査事項

- 1 平川小水力発電所稼働後の状況について

○環境課長 環境課の調査事項について説明する。

まず、昨年12月19日、平川小水力発電所の竣工式に御列席いただいたことに御礼申し上げます。

それでは、調査事項1「平川小水力発電所稼働後の状況について」説明する。

水力発電において基本とされるのは小石や落ち葉など塵芥の混入をできる限り除塵し、水車内に送水することである。その理由としては、水車に塵芥が流入することにより、金属部品の摩耗や損傷等を発生させ、発電効率の低下や運転停止などの原因となるためである。2ページ、資料1を御覧いただきたい。水力発電において除塵が基本となることから上段のイメージ図のとおり、除塵機を設置し、塵芥の主なものである落ち葉等を取り除く処理をしているところであるが、委員各位御承知のとおり昨年11月27日の季節外れの降雨により、取水口から流入した大量の落ち葉等の除塵作業が間に合わず、一旦取り除かれた落ち葉等が分水槽内にこぼれ落ち、水車に流入し、運転が停止する事態が発生した。

このことを教訓として記録するとともに、対策を講じることでスムーズな運用に努めてまいりたいと考えている。

現在の落ち葉等の処理については、追貝平土地改良区や沼田市シルバー人材センターに

協力をいただき、水車に影響が出ないよう除塵に努めるとともに、状況に応じて運転を停止する措置等に対応することとしている。

なお、モニタリングについては、資料1の下段にあるように、遠隔設備監視システムの取水設備画面等では水位や売電電力量などの確認を行い、また、遠隔監視では落ち葉等の堆積状況や建屋内などが監視できるようになっている。現在は落ち葉等の流入は少なく落ち着いている状況である。

なお、売電については今月8日から開始している。

環境課からの説明は以上である。

○委員長 説明が終わった。

調査事項1「平川小水力発電所稼働後の状況について」質疑を行う。発言はあるか。戸部委員。

○戸部委員 今度は大変な思いをして除塵をやっているということであるが、それはどこかと契約してやっているのか。シルバー人材センターかどこになるのか。

○環境課長 農業用水施設所有者であり、日常的に水路管理をいただいている追貝平土地改良区と協定を締結しており、その中で除塵をしていただくような形になっている。また、落ち葉などの状況により、さらに必要がある場合はシルバー人材センターに塵芥のかき出しや運搬を依頼している状況である。そちらは委託契約をしている。

○戸部委員 年間の委託契約になるのか、詳しい説明を願う。

○環境課長 契約の状況についてであるが、追貝平土地改良区については施設の使用の協定ということで一応20年間の形になっている。申し訳ない。期間はすぐ分からないが、施設があるうちは協定を締結している。その中でそれぞれ役割分担というか、費用負担などといったところが決まっており、その中に除塵作業については作業の実績に応じて精算しましょうというような形になっている。追貝平土地改良区はそのような形になっている。次に、シルバー人材センターについては今年度ということと委託契約をしている。また、必要に応じて来年度契約するなりという形で対応したいと考えている。

○戸部委員 今月8日から売電を開始したということであるが、1日の売電の金額は平均でどれくらいになるのか。今も言ったようにあまり経費がかかって、売電の効果と経費が採算ベースでどうなのか心配である。その点はどうか。

○環境課長 今月8日から売電を開始したので、まだ間もないところであるが、おおむね1日19万円、20万円弱ぐらいという形になっている。収支については一応20年程度、建設するときに20年、FIT期間中、電力の買取り価格が固定されている間は大体20年間で2,500万円程度の収益があるかを見込んでいます。2,500万円というのは20年間なので、大規模なものを含めた設備の更新、メンテナンス、オーバーホール、それと建設に伴う借入の償還金も返済した上で2,500万円程度の収益になると見込んでいます。

○委員長 ほかに。私からよろしいか。

○副委員長 進行を代わる。委員長。

○委員長 今回、塵芥、落ち葉のほうの処理をシルバー人材センターとかに頼まれたということであった。最初は職員が24時間対応していたという話を聞いていて、それは結構大変かと思った。シルバー人材センターとの契約はいつから始めたのか。それと、田んぼをやっている5月ぐらいに水が一番少なくなるのではないかという気がする。多いときと少

ないときはどのくらいの差があるのか教えていただければと思う。

○環境課長 まず、シルバー人材センターとの委託契約がいつからかということであるが、完成して、引渡しを受けた11月22日からの契約となっている。

次に、年間の発電をどのように見込むかというようなことかと思うが、おっしゃるように発電については河川の流量と農業用水の需要が大きく影響する。河川の流量が少なくなる渇水期や河川の流量はあるが農業用水を使用するかんがい期については発電量が低下することが想定される。このためそれ以外の期間である3月から4月、9月から11月は発電量が多くなるのではないかと想定している。

○委員長 3月、4月と9月から11月ぐらいが多くなるということだったが、冬場は渇水時期になると思う。農業用水のほうは田んぼとかそういうのでは冬は使わないと思う。その辺は渇水期でありながらも十分水量があるのかどうか、その辺をお聞かせ願う。

○環境課長 おっしゃるとおり冬場は渇水期ということで少ない状況になっているが、一応建設時に想定したところでは、やはり水が少なくて取れない期間があるだろうと。それが10日から20日ぐらいは取れないのではないかとというような想定をしていたのだが、現状は思ったより取れているというような状況になっている。

ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 なければ以上で環境課を終了する。

(4) 今後の日程について

○委員長 次に、次第(4)今後の日程について、ア 次回の委員会について、事務局に説明させる。

(事務局書記 説明)

○委員長 説明が終わった。次回の委員会については、事務局の説明のとおり御了承願う。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 事務局の提案のとおりとする。以上で市民部各課の所管事項報告を終わる。

(市民部 退室)

(2) 市民部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換

(3) 健康福祉部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換

○委員長 それでは、次第(2)市民部所管事項に関する調査事項検討及び意見交換を行う。発言はあるか。健康福祉部も一緒にいい。井上委員。

○井上委員 健康福祉部になる。先日の請願審査で医療と介護の従事者の話があった。沼田市ではこれからその辺がどう推移していくのか。沼田市のこれからの高齢者、高齢者であると広がってしまうので要支援者と要介護者の推移の見込みと介護従事者のこれから

の見込み、増減の見込みを押さえているようであれば確認しておきたい。医療と介護の両方であると2課になるので、まずは介護について聞きたい。

○戸部委員 要支援、要介護は段階がある。

○委員長 ほかにあるか。私からよろしいか。

○副委員長 委員長。

○委員長 各地区で櫻井先生がやって、18か町はまだであるが、下町3か町はやっている。その最新の活動状況を聞かせてもらえればと思う。利南地区でもやっている。

○戸部委員 それは課長がよく話をしてくれている。

○委員長 最近そういう新しい動きがあるかについて。

○戸部委員 最近の活動状況がどうなっているかを聞くのでどうか。

○井上委員 事務概要書は前年度の話である。今年度の状況についてはどうか。

○委員長 地域づくりについて、下町3か町は一昨年に取り上げて、実際に活動を始めたのは今年度からである。下町はイルミネーションもやっている。

○齋藤委員 駅のイベントをきっかけに活動になった。

○委員長 各地区の最新の活動状況の説明をいただきたい。利南地区では新しい動きがあったか。

○鈴木委員 特にない。

○戸部委員 利南地区は広い。上久屋町から戸鹿野町まで全部だから広い。

○委員長 横断している。

○鈴木委員 学区も違う。

○委員長 ほかに。齋藤委員。

○齋藤委員 調査事項からずれてしまうかもしれないが、ひとり暮らしの高齢者の見守りというか、把握が足りていないような気がしている。市民からそういう相談をいただく。民生委員だけでは手が足りていないところもあるのかもしれないと思う。そういうことをどうカバーしていったらいいかを調査事項というよりもこの委員会で協議というか、話をしたりしてもいいか。どうしていったらいいとか、提案とか。例えば、ひとり暮らしの人が猫に餌をあげていたりすると、やはり来る。亡くなってしまった後、猫が家の周辺に来て困っている人もいる。市にはそういう話をされていて、掃除だったり、対応をしてもらったりしているのかと思う。一般質問でも地域猫について小野塚議員とかがしている。どうしたらいいか話ができたらいいと思う。

○委員長 どこが担当になるか。

(「民生委員の関係であれば社会福祉課」の声あり)

○戸部委員 猫だったら環境課。

(「地域づくりであれば部をまたぐ」の声あり)

○井上委員 ひとり暮らし高齢者であれば介護高齢課。

○戸部委員 すぐく所管をまたがる。

○齋藤委員 御近所さんをお願いするにしてもその人が大変になってしまう。

○委員長 餌をあげる人が亡くなったから市でなんとかするということではどうかと思う。

○戸部委員 地域で、区でその課題を解決できないのであれば市である。共助で駄目であれば公助である。

- 委員長 まず、区長に話をし、地区でなんとか。
- 戸部委員 とりあえず共助で頑張ってみて、駄目だったら公助で、市に相談をする。
- 井上委員 残りの期間があまりないので、掘り下げられなくなってしまうかもしれないが、調査するのであればテーマを絞って。1回やったけれども、ひとり暮らし高齢者の見守りの体制というので……。
- 齋藤委員 その人は環境課に電話か何かしらしたようにも聞いた。そういうひとり暮らしの高齢者が増えていて見守るといふか、大変であると。
- 委員長 ひとり暮らしの見守りの体制……。
- 井上委員 以前、報告を受けて、在宅介護支援センターがまわっていると。ただ、それで足りているのかどうか。足りていないから問題が起きている。ひとり暮らし高齢者について調査すれば後々役に立つように思う。
- 委員長 ひとり暮らしにするか、猫にするか。猫であると環境課。
- 齋藤委員 聞きたいというよりもどうしたらいいか、ここで話し合えないかという気持ちのほうが強い。
- 井上委員 見守り体制を強化したら猫に餌をあげる人がいなくなるかといえ別の問題である。
- 戸部委員 別の問題である。その人、個人のことである。独りで寂しくてかわいそうだから餌をあげる。その人にとっては生きがいかもしれない。誰も相手をしてくれなくて猫だけが寂しさを紛らわせてくれているような感じもある。
- 委員長 亡くなった後、ではどうするか。
- 戸部委員 生きているうちはその人が管理しているからいいかもしれないが……。
- 齋藤委員 猫だけに固執しているわけではない。そういうお年寄りが集まってしまっている地域もあると思うので、見守りといふかが不足していると思う。調査事項でなくていい。
- 委員長 ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

- 委員長 以上で市民部と健康福祉部の所管事項に関する調査事項検討及び意見交換を終了する。

(4) 今後の日程について

- 委員長 次に、(4) 今後の日程について、イ 今後のスケジュールについて事務局に説明させる。

(事務局書記 説明)

(5) その他

- 委員長 次第(5) その他について、委員から何かあるか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 ないようなので、以上で本日の委員会を終了する。
(午後 2 時 6 分 終了)